

災害対策 知立市職員倫理



水野 浩 議員

問 東海豪雨では県が管理する2級河川逢妻・猿渡川が氾濫して市内各地で多くの市民が被害にあった。逢妻川改修工事は完了したが、猿渡川改修工事の進捗状況は。

答 現在、刈谷市地内で浚渫工事であり、知立市地内での河川改修工事着工には、今しばらく時間がかかる。

問 市長が職員であった時に、避難誘導を行っており、洪水被害状況を把握しているはずにもかかわらず、河川改修が一向に進展しない。また、防災無線設置の要望についても市長就任以来、毎年区長が嘆願している。地域住民は要望書を直接手渡したが、実現しない。早急に設置すべきではない。早急に設置すべきではない。早急に設置すべきではない。

答 予算を確保して早急に対応していきたい。

問 一般的に職員倫理を順守することは当然である。職員



田中 健 議員

安心できる・魅力ある まちづくりを目指して



倫理の向上には政策形成能力が重要であり職員は能力向上に努めるべきである。少子高齢化が加速し他市と差をつけることで自らの市を選んでもらう、人口争奪が始まっている。これは、担税力のある世代を確保することで市は活力維持を図れる。お粗末な行政サービスにならないため政策形成能力を向上すべきでは。

問 災害時の備蓄について、公助、共助、自助の考え方を周知し、市民への備蓄推進を。

答 市や町内会の備蓄量は限界がある。今後の一般家庭や事業所での備蓄を呼びかける。

問 職員が職場で備蓄を進める例があるが当市ではどうか。

答 検討していきたい。

問 仮設住宅建設の備えは。

答 3つの公園に192戸の建設が可能と考えている。

問 狭い当市においては用地の確保が困難。先進市の防災協力農地を検討しては。

答 調査・研究していきたい。

問 今後節電対策が急務だが、LED防犯灯設置推進に向けて、1基当たりの設置コストを下げるため、市の一括発注や市設置、町内管理にしては。

答 今後の検討課題とする。

問 当市の公式サイト(※1)には「リンク切れ」「更新が不完全」など運営上の問題が多い。自治体サイトランキングでも上位に入らなかった。また利便性の高いソーシャルメディア(※2)の検討しては。

答 管理体制を見直して、市民が利用しやすい運営を図る。

問 ミスカきつばたのブログ(※3)掲載はサイトの魅力を高め観光の広報にも有効だが、情報発信のあり方を含め、今後研究していく。

東海地震・東南海地震 に備える対策について



高木 千恵子 議員

問 東日本大震災を教訓に東海・東南海地震に備える防災対策の見直しを早急に講ずべき。知立市の総合計画に「安全に暮らせるまち」とある。災害時、市役所業務が混乱することなく、市民のために、円滑に機能するように、知立市役所業務継続計画は策定されているか。

答 市役所業務継続計画は、22年〜23年検討、24年実施。地震の備えとして、家庭



被災地の様子

でできることに、家具の転倒防止や、ガラスの飛散防止がある。知立市には高齢者・障がい者サービスとして、平成16年より家具転倒防止器具取り付け事業があるが、取り付けは進んでいるのか。

答 地域包括支援センターの協力や民生委員の年1回の訪問を利用して高齢者・障がい者に知らせしていきたい。

問 知立市として家屋の耐震の周知は行われているようだが、市民が少しでも被災しないために、家具の転倒防止対策は必要だ。知立市全世帯を対象に家具の転倒防止策の考えは。

答 災害時の備えとして家具の転倒防止の必要性は十分にわかっている。まずは、広報などで周知していきたい。

※1 公式サイト 企業や自治体などの団体が、広報などを目的に自ら公開している複数のインターネット上のページの集まり
 ※2 ソーシャルメディア インターネットを利用して個人間のコミュニケーションを促進するサービスの総称
 ※3 ブログ 継続して更新する日記形式のウェブサイトの総称